

「蕨島小学校の新地節伝承活動の取組」

1. 学校名	出水市立蕨島小学校
2. 学年・人数	1年生から6年生 23人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年9月～令和6年11月 (2) 発表の日時・場所 令和6年10月27日(日) 蕨島小学校運動会 本校運動場 令和6年11月3日(日) 出水市総合文化祭 マルマエホール
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	(1) 名称 新地節(しんちぶし) (2) 由来 新地節は、古くから海岸近くの村々で踊り継がれて来たと伝えられている。蕨島はかつて島だったが、昭和29年の出水西干拓工事により陸続きとなった。この工事の竣工を祝って、当時の村人たちによって踊られたのが蕨島新地節の始まりと言われている。その後、機会あるごとに婦人会によって踊られてきたが、30年ほど前から学校教育の一環として蕨島小学校の子供たちに受け継がれ、毎年運動会などで披露している。 (3) 構成等 男女2人1組で踊る。男子は、踊り用の軽い鍬を使う。法被を着て、頭には手ぬぐいの鉢巻、素足に草履履きで踊る。女子は、鉤紐のついた天秤棒に砂利を入れる籠をかけた道具を使う。手ぬぐいを姉さんかぶりにし、着物を着て、色物の襷をかけ、赤い腰巻き、手甲脚半に短い前掛け、素足に草履履きで踊る。20年ほど前までは、歌い手や三味線、太鼓の演奏で踊っていた。
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	「新地節保存会」を発足し、30年ほど前から、地域住民が蕨島小学校の児童に新地節の指導を行っている。現在、蕨島の郷土芸能として根付いている。 今年は、披露する場を広げるべく、出水市総合文化祭の伝統芸能部門で出演し、出水市の方々に披露した。たくさんの反響があり、新地節保存会会長宅に電話で感動の旨を伝える連絡が多数あった。
6. 取組の様子(練習状況、発表の場等)	 保存会の方との練習の様子  運動会での披露  総合文化祭での発表の様子 

7. 感想・意見 (参加児童生徒・保護者・保存会・教員等)	【児童】 ・ 運動会で踊るために一生懸命練習した。最初は難しかったが、少しずつ動き方が分かり、楽しかった。上手におどれてよかった。 ・ 地域の方に、毎年教えていただき、今年で最後の踊りとなった。地域の方が運動会で喜んでくれるので、嬉しかった。これからも蕨島小学校で継承していきたい。 【教職員】 ・ 毎年保存会の方々に踊りを教えに来ていただいている。今年は、出水市総合文化祭に出演し、出水市の方々に披露することができた。地域の方も見に来てくださり、大変喜んでいただいた。これからも子供たちとともに継承していきたい。 【保存会から】 ・ 今年は、より素晴らしい踊りであった。一糸乱れぬ姿が大変素晴らしかった。地域の方にも出水市の方々にも喜んでもらえて良かった。 【出水市総合文化祭の観覧者から】 ・ 自分のところは大きな集落のため、小さな集落で一生懸命踊る子供たちに大変感激しました。 ・ 運動会でも新地節を初めて見て、大変良かったので、総合文化祭にも友達を4・5人連れて観に行きました。一糸乱れぬしっかりとそろった踊りに大変感激しました。すばらしかったです。 ・ 踊りが大変良かった。コメントの中に集落の皆さんという言葉が、何回も出てきて集落に感謝している様子がとても感動しました。小さな学校が地域と一体となって取り組んでいるのだなと感じました。孫が名古屋と埼玉に住んでいるんですが、近くに住んでいたらこんな学校に通わせたいと思いました。 ・ 子供たちが本当に素直に、教えてもらったことを一生懸命守って踊ろうとしている姿が、大変すばらしかった。学校と地域が一体となっていることが、分かりました。 ・ 新地節は、古くから出水で踊られてきた。とても懐かしく、子供たちの踊りに感動した。大変すばらしかった。 ・ 動きが合っているだけでなく、目線までしっかりそろっているところが素晴らしかった。(踊りの先生より)
---	--